

特 集

私たちが 歌う理由

ワ
ケ

うたポロの挑戦

The second year



ここでは、普段顔を合わせない人たちが歌によって通じ合い、世代を超えた繋がりを生んでいる。



上／楽譜には、各自のメモ書きがぎっしり。練習時間が少ない分、家に帰ってからの振り返りが大事なんだとか。中／練習の合間の談笑を見ていると、初対面であることを疑ってしまう。歌のパワーって凄い！下／男性参加者が多いのも『うたポロ』ならではの。重低音が支える混声合唱の迫力は圧巻。

夜7時前、仕事帰りのお父さんや夕飯の支度を済ませたお母さん方がぞくぞくと多目的ホールに集まってくる。2年目を迎えた『うたポロ』の、改善センターでの練習風景。2月に開始し、ぼろろでの本番まで各日2時間、「ひるポロ」「よるポロ」の二部に分かれ12回行われる練習の、今日は5回目。

まずは発声練習。「横隔膜を下げて、肺を広げるように。息は鼻から吸って——」指導する永岡真佐子さんの言葉に、参加者が耳を傾ける。「低い音域でも弱まらない。一定のエネルギーで、突き抜けるように——」。ひとしきり声を出したら、パートごとに音程を合わせて歌い込む。言葉一つ一つの意味を想いながら区切りを確認し、最後に全体を合わせていく。「ははなるだいちのふところに……♪ゆるっと入らないよう、初めの音で構えておく。全員のベクトルを一点に向けて——」。

ここに集まる方々は、ほとんどが初対面。ただ、歌い始めれば一つの方向に、同じ眼差しで。激しくも笑いが溢れる2時間は、あつという間に過ぎていき、気付けば打ち解け合い、そして次の練習での再会を約束している。

『うたポロ』が走り出したのは、昨年のちょうどこの頃。「歌の力で地域を盛り上げたい、そして何よりも皆で合唱がしたい」との思いから、永岡さんら4名が立ち上がり「うたポロ実行委員会」を設立。町民参加の「うたポロ春うたコンサート」を企画した。活動の輪は瞬く間に広がり、6歳から80歳代までの幅広い世代で構成された総勢60名の合唱団がここに誕生した。

参加者の半数以上が、合唱未経験。南幌の新しい文化として駆け抜ける『うたポロ』の、熱い情熱に迫った。



歌は目的ではなく 出会いと繋がりを持つための手段

地域を盛り上げたい

「南幌で少年少女合唱団のような活動をやってみたい」、ふとそう思ったことがきっかけでした。南幌はスポーツ少年団をはじめとする、スポーツ活動は盛んですが、文化系の少年団活動は薄い。日本中どこもそういった傾向にありますね。その胸の内を同じ社会教育審議会委員の小野島直彦さん（稲穂）に伝えたとこ、思わぬ素敵な提案がありました。「子どもだけを対象としないで、歌の力で地域を盛り上げましょう！キーワードは「卒業」、春に南幌を巣立つ子どもたちへ大人からのエールとはなむけになるよ

うたポロ実行委員会

委員長 永岡真佐子 さん(東町)

栗山町出身。札幌大谷短期大学音楽科ピアノコース卒業、同校専攻科修了。ソロでのステージ活動の他、リンツ・ブルックナーオーケストラ木管主席メンバーとの演奏会、札幌メンバーとの共演など多くの演奏会に出演。現栗山少年少女合唱団の指導者兼ピアニスト。また、社会教育審議会委員、学校運営協議会委員、行政評価委員として、町政振興に努める。



うなコンサートを作りませんか。

集まった実行委員は私と小野島さんを含め4名。教育委員会のご後援も叶い、さらにはまちづくり活動支援事業の助成、強力なチームができました。中でも「農猿」の皆さんが参加してくれたことは、本当に嬉しいことでした。日頃は農作業に汗を流す彼らが、奥さんやお子さんと並んでちよつと照れながら合唱に参加する、その姿はとても微笑ましく、これぞ社会教育の醍醐味?!でした。また、養護学校職員バンドの皆さんがコラボした南幌町歌で、作詞者の大西良子さん（中央）が涙ぐんでいらしたのも嬉しい出来事でした。

みんなで創り上げる

それが『うたぽろ』の魅力

合唱は一人では絶対にできないですし、その魅力はたくさんあると思います。不思議なことに想いの一つになると、素晴らしい空気になり、素晴らしいハーモニーが生まれる。初回の練習でもそうなるんです。人の持つパワーに気付かれます。ただ、『うたぽろ』は「地域を盛り上げたい」の一心で活動する合唱団、歌の上

手い下手は二の次で

す。とは言え、経験者が退屈しないような音楽的な指導を盛り込むことと、初心者が増え続けるような雰囲気づくりも心掛けています。誰もがこの場に来て良かったと思ってもらいたいので。

そして、私自身がここで得られたこと、それは、チームで創り上げる喜びと感謝です。「一つの合唱を作るのは、石垣を作るようなもの」とは、私に合唱の楽しさを教えてくださった先生の言葉。目立つ大きな石だけでは石垣は崩れてしまうのです。チームで企画、決断、実行する経験は私にとって初めてのことで、ここでも社会教育の目指す「出会いと繋がり」の学びがたくさんありました。子どもたちの隣で一緒に父さん、お母さん、おじいちゃんおばあちゃんが歌い、農家の皆さんがいて、人生の大先輩の背中に何かを感じ取る。これぞ『うたぽろ』であり、私たち社会教育のモデルケースになればと思います。

「小さな石が大きな石の隙間を埋め支えてこそ、石垣は立つ」。これはまさに、まちづくりに通じると言えます。この企画にご賛同いただいた全ての皆さんに心から感謝します。



桃野繁さん

ひとみさん ご夫妻(長沼町)

普段は、長沼町のコーラスグループに夫と参加していますが、伴奏を担当してくださった永岡先生に「うたボロ」を紹介していただき参加することにしました。歌は喜びや悲しみが歌詞に表されていて、心が豊かになりますし、ここではそれぞれ職業も年齢も異なる人たちが声を合わせて一つの曲を創り上げる喜びを共感し合えるので、とても魅力を感じています。



農猿

左から 白倉翔平さん(中樹林)

米田昌樹さん(6区)

実行委員の小野島さんが、以前から僕らのイベントに協力してくださっていた縁があり参加を決めました。こういった多世代が集うイベントが、子どもたちに与える影響は大きいと思います。僕らも子どもの頃に見た南幌の伝統的な行事の記憶があるから、新しい何かをやってみようと思えました。今の子どもたちもこれをきっかけに、将来新しい何かを生んでくれると嬉しいです。



松島大三郎君

摩美さん 親子(東町)

合唱にもともと興味がありましたが、学校の授業以外では歌うことがありませんでした。母に誘われて参加して、歌がもっと好きになりました。ここは、誰でもウェルカムな雰囲気、違う年代の人とも関われるので、自分の人生にとってプラスになると 생각합니다。

◎この活動は、まちづくり活動支援事業の補助決定事業です。

あなたの
チャレンジを
応援します！

くまちづくり活動支援事業く

町では、協働のまちづくりを推進するため、町内の団体(5名以上)が自主的に取り組む公益的な活動に対して助成を行います。

なお、団体が円滑な事業推進のために町でサポートすることもできます。また、既存の団体活動事業であっても、この補助金を活用して新たな工夫が加えられる事業も対象となります。

◆申請受付期間

- ・ 第一期 4月1日～5月17日
- ・ 第二期 7月1日～8月16日
- ・ 第三期 9月2日～10月18日
- ・ 第四期 11月1日～12月13日

◆交付要綱・申請書関係

町ホームページより必要な書類をダウンロードしてください。また、情報コーナー(役場、あいくる、夕張太ふれあい館)にも関係資料を配置しています。



左から **小野島絆平君**(稲穂)
城地春寿君(9区)

「うたポロ」の良いところは、本番があるので緊張感があるところ、普通の合唱とは違ってパフォーマンスをしたりするところです。「歌」って、なんだか良いなって思うようになりました。来年は友達をもっと誘って、もっと大人数で歌いたいです。



左から **榎本和香子さん**(北町)
大西良子さん(中央)
加藤侑子さん(北町)

折り込みのチラシを見てすぐに参加しようと決めました。普段なかなか外出しないのですが、歌うことは健康に良いと思いますし、合唱経験の浅い私でも快く迎え入れてくださいました。本番が終われば、また来年の春まで活動はありませんがここで知り合えた方々と月1回でも集まって歌わないかという話をしています。榎本さん、大西さんと知り合えたのも「うたポロ」のおかげですし、ここで芽生えた輪が今後も広がっていくと嬉しいです。(加藤さん)



左から **猿渡則子さん**(西町)
山本寿子さん(稲穂)
佐藤龍子さん(14区)

私たちは町内の合唱サークルで友達になりました。歌は人と人とを繋ぐ不思議なパワーを持っているんです。今回、永岡先生がこのような企画をしてくださって「よくやってくれた！待っていた！」という思いです。性別、年齢を問わず皆で楽しめる「うたポロ」が南幌の新しい文化として発展すると嬉しいです。



《補助メニュー》

◆ 協働のまちづくり事業

- ・ 補助率10分の8以内
- ・ 補助上限額80万円

【事業例】

- ・ 特産品開発や普及啓発
- ・ 南幌町の魅力情報発信
- ・ お見合いイベント
- ・ 教育・子育て支援

◆ 地域コミュニティ活性化事業

- ・ 補助率10分の7以内
- ・ 補助上限額30万円

【事業例】

◆ 地域交流推進事業

- ・ 三世代交流イベント
- ・ ごみボックスの塗装
- ・ 地域防犯活動

【事業例】

- ・ 地域スポーツ大会
- ・ 地域盆踊り大会
- ・ 夏祭り花火大会

《平成30年度 交付決定事業》

① 申請団体：農猿

② 申請団体：YASAR

③ 申請団体：AUSグループ

④ 申請団体：菜の花会

⑤ 申請団体：「知名度高揚事業」

⑥ 申請団体：「春うたコンサート」